



校訓

自主・協同・責任

学校教育目標

自らを高め、共に感動できる生徒

ボランティア活動の推進

気づき
考え
行動する

めざす生徒像（学校像）

- 今やるべきこと、今だからこそできることに全力で取り組む生徒
- 小さな疑問を大切に、自ら進んで学習に取り組む生徒
- 互いに関わり合うなかで自他のよさを認め合い、尊重することができる生徒
- 心身共に健康で、困難なことにも進んで挑戦しようとする生徒
- 地域と連携し、地域と共に歩む生徒

重点目標

○ 知を磨く

- ・基礎基本の定着
- ・思考・表現力の育成
- ・教え合い活動

○ 心を磨く

- ・奉仕の心
- ・一段高いところぞし
- ・励まし合い

○ 体を磨く

- ・完全治療・病欠欠席ゼロ
- ・リズムある生活と朝ご飯
- ・鍛え合い

経営方針

- ① 教育や学校が担う目的や目標を原点とし、生徒・地域・環境などの実態を踏まえた「周南中学校」としての教育を実践する。
- ② 生涯学習の基礎・基本となる学力の、確実な定着を図る。
- ③ 社会生活を送る上で必要な態度や能力を、人との関わりや体験的な活動をとおして養う。
- ④ 感動する心を育て感性を豊かにすると共に、地域を誇りに思う気持ちを育てる。
- ⑤ 特別支援教育への理解と実践を図る。
- ⑥ 教員自ら人間性を磨き、強い使命感と豊かな感性をもって教育実践をするなかで、資質の向上をめざして日々研鑽する。
- ⑦ 積極的に情報を公開して保護者や地域とのコミュニケーションを深め、学校への信頼を高める。

知・体を磨く(教科指導)

自分の“思いを伝える”
言語化活動の充実

- ・教科・教科群研修の充実
- ・教科特性を生かした言語化活動
- ・単元の工夫
- ・教師の一工夫
- ・個への支援(特別支援教育)

学校防災推進協力校

心を磨く(徳育推進)

青少年赤十字(JRC)活動の
充実と徳育の推進

- ・「ふるさと袋井に生きる」の活用
- ・「あいさつ運動」を通して心ゆかな人づくり
- ・生命と健康を大切にして(健康・安全)社会と人に尽くす責任を自覚し
(奉仕)世界の青少年と仲良く助け合う(国際理解・親善)

確実な教育課程

PDCAサイクルの実践
(7・10・12・3月の振り返り)

- ・県の重点施策に関連する成果
- ・校内数値目標に関する成果
- ・教科時数確保
- ・指導要領先行実施
- ・特別支援教育の充実
- ・キャリア教育の実践